



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月27日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL http://www.spaceshower.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,646	6.9	490	52.9	500	48.4	335	58.7
29年3月期第2四半期	7,154	12.3	320	79.7	337	82.8	211	81.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 335百万円 (58.9%) 29年3月期第2四半期 211百万円 (81.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	29.64	—
29年3月期第2四半期	18.68	—

(参考) 持分法投資損益 30年3月期第2四半期 0百万円 29年3月期第2四半期 4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,390	4,401	52.5
29年3月期	7,912	4,178	52.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,401百万円 29年3月期 4,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	0.00	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00			
30年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,887	0.6	535	△9.1	550	△12.2	350	0.1	30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	11,330,800株	29年3月期	11,330,800株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	ー株	29年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	11,330,800株	29年3月期2Q	11,330,800株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的なリスクの高まりが見られたものの、企業収益や雇用環境については改善が進むとともに、設備投資や個人消費についても回復基調となり、緩やかな景気回復が続いております。また、世界経済は、堅調な米国経済や、中国の経済成長率回復をはじめ、緩やかな成長の動きが見られるものの、低水準のインフレや低い潜在成長率などのリスクもあり、不透明さを残しております。

こうした環境の下、当社グループでは、放送業界、音楽業界、エンタテインメント業界における市場環境や消費者ニーズの変化に対応するため、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつ、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、総合音楽エンタテインメント企業への転換を図ることを基本方針として参りました。また、ファンクラブ事業を展開するコネクトプラス(株)、コンセプトカフェ運営を行うインフィニア(株)、映像制作プロダクションの(株)セップ、老舗インディーズレーベル運営の(株)Pヴァインの連結子会社4社とともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、毎夏恒例となる当社主催野外ライブイベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2017」を、8月25日～27日の3日間で開催。入場チケットが早期完売となり、過去最大の約7万人を動員し、天候にも恵まれ、大成功を収めました。

また、当社所属アーティストの「Suchmos(サチモス)」が、7月5日にソニー・ミュージックとのパートナーシップによる新レーベル『F.C.L.S.』より最初のリリースとなるマキシシングルを発売。リリースを記念したイベントは、SNSにおいて大きく拡散され、効果的なプロモーションとなりました。

加えて、受託レーベルからの大型タイトルリリースによる、パッケージ商品販売数の増加。定額制デジタル音楽配信サービス市場の拡大や、当社の保有するカタログからヒット楽曲を多く送り出せたことによる、デジタル音楽配信の堅調な成長が実現いたしました。

これらの取り組みの結果、売上高は7,646,285千円と前年同期比491,626千円増(同6.9%増)となりました。また、営業利益は490,439千円と前年同期比169,779千円増(同52.9%増)、経常利益は500,812千円と前年同期比163,261千円増(同48.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は335,895千円と前年同期比124,288千円増(同58.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネルの運営を中心に関連イベントやコンテンツプロデュースを展開するSPACE SHOWER TV事業、アーティストマネジメントからレーベル及びディストリビューションまでアーティストビジネスを360度展開するSPACE SHOWER MUSIC事業、音楽周辺のポップカルチャー領域を開拓するSPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業及び「WWW」「WWW X」を運営するライブハウス事業の4つの事業ユニットを中心に、連結子会社(株)Pヴァインのレーベル事業、コネクトプラス(株)のファンクラブ事業、インフィニア(株)のコンセプトカフェ事業等を加えて、各事業分野の成長施策の推進にあっております。

SPACE SHOWER TV事業においては、主に、当社主催イベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2017」の過去最大動員達成により、売上高、経常利益ともに、前年同期を上回りました。

SPACE SHOWER MUSIC事業においては、前連結会計年度に大躍進したアーティスト関連売上の反動減はあったものの、CDパッケージ商品の販売数が予想を上回ったことや、デジタル音楽配信が想定水準を超え伸長したことなどにより、前年同期比で増収増益となりました。

その他、ライブハウス事業において2号店「WWW X」が好調に推移し前年同期比で増収となるとともに、1号店との連携によりコスト面での合理化を図ったことで増益貢献しました。また、インフィニア(株)が運営する「@ほお〜むカフェ」も、引き続き好調な集客により、売上高、経常利益ともに、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は7,002,640千円と前年同期比416,668千円増(同6.3%増)となり、経常利益(セグメント利益)につきましても478,241千円と前年同期比142,505千円増(同42.4%増)と増収増益となりました。

②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、大型LIVE映像制作の受注が増加したことなどにより、売上高は 643,644千円と前年同期比 74,958千円増（同 13.2%増）となり、経常利益（セグメント利益）につきましても 27,838千円と前年同期比 13,376千円増（同 92.5%増）と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金が 609,217千円、仕掛品が 100,495千円、その他（流動資産）が 69,049千円増加し、一方で現金及び預金が 271,953千円減少し、減価償却累計額及び減損損失累計額が 68,035千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 477,138千円増加し、8,390,082千円となりました。

負債につきましては、主に買掛金が 381,565千円、リース債務（流動負債）が 75,426千円増加し、一方でリース債務（固定負債）が 90,815千円、未払法人税等が 51,962千円、賞与引当金が 48,100千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 254,550千円増加し、3,988,794千円となりました。また、純資産は利益剰余金が前連結会計年度末に比べ 222,587千円増加したことにより、4,401,287千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、274,453千円の使用となり、資金の四半期末残高は、2,399,515千円となりました。これは、営業活動により 8,012千円獲得した一方で、投資活動により 153,769千円、財務活動により 128,697千円使用したことによるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の獲得は、8,012千円（前年同期は 49,908千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益により 495,601千円、仕入債務の増加により 381,565千円、減価償却費の計上により 70,214千円獲得した一方で、売上債権の増加により 609,217千円、法人税等の支払により 213,789千円、たな卸資産の増加により 92,183千円、その他の流動資産の増加により 76,110千円使用したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の使用は、153,769千円（前年同期は 390,636千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得により 75,866千円、無形固定資産の取得により 41,557千円使用したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の使用は、128,697千円（前年同期は 123,970千円の使用）となりました。これは、主に、配当金の支払により 113,308千円使用したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月28日付に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成29年10月19日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,736,609	2,464,655
受取手形及び売掛金	1,960,158	2,569,375
商品	235,266	223,165
仕掛品	266,741	367,236
貯蔵品	6,450	10,239
繰延税金資産	151,448	134,418
その他	191,811	260,860
貸倒引当金	△61,427	△58,877
流動資産合計	5,487,058	5,971,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,097,423	1,131,959
機械装置及び運搬具	23,762	33,336
工具、器具及び備品	472,149	492,726
土地	72,455	72,455
リース資産	518,695	518,695
建設仮勘定	12,394	1,200
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,238,233	△1,306,268
有形固定資産合計	958,648	944,104
無形固定資産		
のれん	196,680	172,672
商標権	175,724	168,900
ソフトウェア	130,343	125,834
ソフトウェア仮勘定	3,000	—
その他	12,216	17,147
無形固定資産合計	517,965	484,554
投資その他の資産		
投資有価証券	266,289	282,071
敷金及び保証金	381,096	386,697
繰延税金資産	248,144	260,520
その他	79,776	90,870
貸倒引当金	△36,701	△36,701
投資その他の資産合計	938,605	983,458
固定資産合計	2,415,218	2,412,117
繰延資産		
株式交付費	8,024	4,585
その他	2,642	2,304
繰延資産合計	10,666	6,890
資産合計	7,912,944	8,390,082

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,320,301	1,701,866
リース債務	22,291	97,718
未払金	287,182	298,700
未払法人税等	237,494	185,531
預り金	511,194	477,479
賞与引当金	206,549	158,448
役員賞与引当金	19,796	6,275
返品調整引当金	78,095	58,462
売上割戻引当金	1,075	6,791
その他	122,881	117,930
流動負債合計	2,806,863	3,109,204
固定負債		
リース債務	143,813	52,997
退職給付に係る負債	645,551	676,800
役員退職慰労引当金	131,475	142,392
その他	6,539	7,399
固定負債合計	927,380	879,590
負債合計	3,734,244	3,988,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,579	977,579
利益剰余金	1,280,541	1,503,129
株主資本合計	4,178,699	4,401,287
純資産合計	4,178,699	4,401,287
負債純資産合計	7,912,944	8,390,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,154,658	7,646,285
売上原価	5,306,549	5,624,076
売上総利益	1,848,109	2,022,208
返品調整引当金戻入額	5,133	19,632
差引売上総利益	1,853,242	2,041,841
販売費及び一般管理費	1,532,582	1,551,401
営業利益	320,660	490,439
営業外収益		
受取利息	14	7
受取配当金	395	582
持分法による投資利益	4,311	602
受取賃貸料	870	870
業務受託手数料	10,528	7,331
諸預り金戻入益	2,734	2,153
助成金収入	3,000	2,000
雑収入	1,429	1,944
営業外収益合計	23,282	15,492
営業外費用		
支払利息	698	658
株式交付費償却	3,438	3,438
為替差損	1,616	935
雑損失	638	86
営業外費用合計	6,391	5,119
経常利益	337,551	500,812
特別利益		
固定資産売却益	—	844
特別利益合計	—	844
特別損失		
固定資産除却損	2	6,054
特別損失合計	2	6,054
税金等調整前四半期純利益	337,548	495,601
法人税、住民税及び事業税	156,557	155,051
法人税等調整額	△30,437	4,654
法人税等合計	126,120	159,705
四半期純利益	211,427	335,895
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△180	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,607	335,895

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	211,427	335,895
四半期包括利益	211,427	335,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,607	335,895
非支配株主に係る四半期包括利益	△180	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	337,548	495,601
減価償却費	54,857	70,214
無形固定資産償却費	51,834	43,131
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△214	△2,549
のれん償却額	25,010	24,008
受取利息及び受取配当金	△409	△590
敷金及び保証金償却	2,770	3,047
株式交付費償却	3,438	3,438
持分法による投資損益(△は益)	△4,311	△602
支払利息	698	658
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	6,054
無形固定資産除売却損益(△は益)	—	△844
出資金償却	6,981	662
差入保証金の増減額(△は増加)	△177	△71
長期前払費用の増減額(△は増加)	—	△3,389
長期前払費用償却額	892	349
売上債権の増減額(△は増加)	△515,070	△609,217
たな卸資産の増減額(△は増加)	△187,175	△92,183
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△42,254	△76,110
仕入債務の増減額(△は減少)	330,294	381,565
その他の流動負債の増減額(△は減少)	8,676	△31,295
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△2,284	859
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,518	△48,100
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,455	△13,521
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,515	31,248
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,979	10,916
その他	6	△0
小計	112,548	193,281
利息及び配当金の受取額	409	5,470
利息の支払額	△698	△658
法人税等の還付額	—	23,708
法人税等の支払額	△62,350	△213,789
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,908	8,012

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△2,500
有形固定資産の取得による支出	△362,417	△75,866
無形固定資産の取得による支出	△39,716	△41,557
無形固定資産の売却による収入	—	1,620
投資有価証券の取得による支出	—	△20,060
出資金の払込による支出	—	△6,048
出資金の回収による収入	13,226	2,170
貸付けによる支出	—	△2,999
貸付金の回収による収入	1,041	50
敷金及び保証金の差入による支出	—	△8,922
敷金及び保証金の回収による収入	229	344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390,636	△153,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△113,308	△113,308
リース債務の返済による支出	△10,662	△15,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,970	△128,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△464,704	△274,453
現金及び現金同等物の期首残高	2,341,573	2,673,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,876,869	2,399,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,585,972	568,685	7,154,658	—	7,154,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	220	19,273	19,493	△19,493	—
計	6,586,192	587,959	7,174,152	△19,493	7,154,658
セグメント利益	335,735	14,462	350,197	△12,646	337,551

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△12,646千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,002,640	643,644	7,646,285	—	7,646,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14,220	14,220	△14,220	—
計	7,002,640	657,865	7,660,506	△14,220	7,646,285
セグメント利益	478,241	27,838	506,079	△5,267	500,812

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△5,267千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。